セカンドオピニオン外来 各診療科体制表(R07.10.1現在)

| | 診療科 | (1)セカンドオピニオ ン外来対応の可否 | (2)対象疾患 | (3)対応する医師 |
|----|------------|-------------------------|---|--|
| 1 | 循環器内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 2 | 血液内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 3 | 消化器内科 | 対応可 | 限定しない(ただし、前医での診断がきちんとついている場合に限定) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 4 | リウマチ・膠原病内科 | 対応可 | 限定しない(ただし、前医での診断がきちんとついている場合に限定) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 5 | 腎臓・高血圧内科 | 対応可 | 限定しない | 原則として(教授 風間順一郎、准教授 田中健一)が担当 |
| 6 | 糖尿病•内分泌内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 7 | 脳神経内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 8 | 呼吸器内科 | 対応可 | 主にびまん性肺疾患(肺線維症など)、呼吸器悪性腫瘍(肺癌など)、重症気管支喘息他は内容によって対応を検討します | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 柴田陽光、病院教授 谷野功典、講師 金沢賢也、講師 斉藤純平) |
| 9 | 総合内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 10 | 消化管外科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容によって対応医師を診療科で決定 |
| 11 | 呼吸器外科 | 対応可 | 限定する(原発性肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、難治性気胸、難治性膿胸、良性肺腫瘍、肺癌に対する免疫療法) | 申込内容(疾患)によって対応医師を診療科で決定 |
| 12 | 肝胆膵·移植外科 | 対応可 | 限定する(肝・胆・膵疾患、肝臓・膵臓・膵島移植、免疫療法、消化器癌化学療法、癌免疫療法) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局内で決定(教授 丸橋繁、教授 見城明、教授 木村隆、准教授 小船戸 康英、講師 佐藤 直哉) |
| 13 | 小児外科 | 対応可 | 限定する | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 田中秀明、講師 清水裕史) |
| 14 | 乳腺外科 | 対応可 | 限定する(乳腺疾患) | 申込内容(疾患)によって対応医師を決定(教授 大竹徹、准教授 立花和之進、講師 岡野舞子) |
| 15 | 甲状腺•内分泌外科 | 対応可 | 限定する | 申込内容(疾患)によって対応医師を決定 |
| 16 | 甲状腺・内分泌内科 | 対応可 | 限定する | 教授 - 鈴木悟 |
| 17 | 心臓血管外科 | 対応可 | 心臓血管疾患の手術に関すること全般 | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 今坂堅一、准教授 若松大樹、助教 五十嵐崇) |
| | | | | |

セカンドオピニオン外来 各診療科体制表(R07.10.1現在)

| 診療科 | (1)セカンドオピニオ ン外来対応の可否 | (2)対象疾患 | (3)対応する医師 |
|--------------|---|---|--|
| 脳神経外科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 藤井正純、准教授 市川優寛、講師 神宮字伸哉、講師 眞野唯) |
| 整形外科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 松本嘉寛、教授 龍 啓之助、教授 矢吹省司、教授 大谷 晃司、准教授 大内一夫、准教授 二階堂琢也、教授 箱崎道之、教授 渡邉 和之、講師 加藤欽志、講師 小林 洋、学内講師 亀田拓哉、助手 佐藤俊介) |
| 形成外科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 小山明彦、准教授 齋藤昌美、病院助手 望月靖史、助教 北村成紀、助手 永峰恵介、助手 渡部将伍) |
| 産科、婦人科 | 対応可 | 限定する(婦人科腫瘍、周産期(産科)、不妊症、遺伝相談) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 藤森敬也、教授 添田周、准教授 菅沼亮太) |
| 小児科 | 対応可 | 限定する(急性脳炎・脳症、髄膜炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、先天性心疾患、川崎病後遺症、不整脈、遺伝性疾患) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 郷勇人、教授 桃井伸緒) |
| 小児腫瘍内科 | 対応可 | 限定する(小児がん、小児白血病・リンパ腫、免疫不全症、EBウィルス感染症、造血幹細胞移植、特に再発・難治性小児白血病、がんに対するハプロ移植) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 佐野秀樹) |
| 眼科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 皮膚科 | 対応可 | 限定する(悪性黒色腫、悪性リンパ腫、アトピー性皮膚炎、有棘細胞癌、乾癬、掌蹠膿疱症、強皮症) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 山本俊幸、准教授 大塚幹夫、講師 森 龍彦、講師 石川 真郷) |
| 泌尿器科・副腎内分泌外科 | 対応可 | 限定する(泌尿器・副腎疾患)。ただし、結石を除く。 | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 耳鼻咽喉科·頭頸部外科 | 対応可 | 限定しない(ただし、内容により対応が不可のこともあり) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 室野重之、准教授 今泉光雅、講師 池田雅一、助教 垣野内景、助手 尾股千里) |
| 心身医療科 | 対応可 | てんかん、性同一性障害を除く | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定 |
| 放射線科 | 対応可 | 限定する(画像診断に関すること) | 申込内容に応じて対応医師を科内で決定 |
| 放射線治療科 | 対応可 | 限定する(悪性腫瘍全般、及び、放射線治療の適応となる一部の良性疾患) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 鈴木義行、教授 吉本由哉、准教授 佐藤久志) |
| 核医学科 | 対応可 | 限定する(RI内用療法、PET・核医学検査に関すること) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 志賀哲、特任教授 織内昇、准教授 岡本祥三、助教 菅原茂耕) |
| 麻酔・疼痛緩和科 | 対応可 | 限定する(麻酔全般、アナフィラキシー、ペインクリニック、緩和ケア) | 申込内容(疾患)によって対応医師を医局で決定(教授 井上聡己、教授 小原伸樹、講師 佐藤薫、講師 箱崎貴大、助教 中野裕子) |
| | 脳神経外科 整形外科 形成外科 産科、婦人科 小児科 小児腫瘍内科 眼科 皮膚科 泌尿器科・副腎内分泌外科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 心身医療科 放射線治療科 放射線治療科 | ン外来対応の可否 脳神経外科 対応可 整形外科 対応可 形成外科 対応可 座科、婦人科 対応可 小児科 対応可 小児腫瘍内科 対応可 股膚科 対応可 泌尿器科・副腎内分泌外科 対応可 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 対応可 心身医療科 対応可 放射線科 対応可 核医学科 対応可 | シ外来対応の可否 限定しない 対応可 限定しない 限定しない 対応可 限定しない 限定しない 限定しない 形成外科 対応可 限定する(婦人科腫瘍、周産期(産科)、不妊症、遺伝相談) が応可 限定する(婦人科腫瘍、周産期(産科)、不妊症、遺伝相談) 小児科 対応可 限定する(急性脳炎・脳症、髄膜炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、先天性心疾患、川崎病後追症、不整脈・遺伝性疾患 外応可 限定する(小児がん、小児白血病・リンパ腫、免疫不全症、EBウィルス感染症、造血幹細胞移植、特に再発・難治性小児白血病、がんに対するハブロ移植 財応可 限定する(悪性無色腫、悪性リンパ腫、アトビー性皮膚炎、有棘細胞癌、乾癬、掌蹠腫瘍症、強皮症 対応可 限定する(泌尿器・副腎疾患)。ただし、結石を除く。 耳鼻咽喉科・顕頸部外科 対応可 限定する(泌尿器・副腎疾患)。ただし、結石を除く。 日鼻咽喉科・顕頸部外科 対応可 限定しない(ただし、内容により対応が不可のこともあり) 小身医療科 対応可 限定する(画像診断に関すること) 限定する(悪性腫瘍全般、及び、放射線治療の適応となる一部の良性疾患) 核医学科 対応可 限定する(悪性腫瘍全般、及び、放射線治療の適応となる一部の良性疾患) 核医学科 対応可 限定する(民内用療法、PET・核医学検査に関すること) |

セカンドオピニオン外来 各診療科体制表(R07.10.1現在)

| | 診療科 | (1)セカンドオピニオ ン外来対応の可否 | (2)対象疾患 | (3)対応する医師 |
|----|------------|-------------------------|--|---------------------------------------|
| 33 | 歯科口腔外科 | 対応可 | 限定する(口腔外科疾患のみ) | |
| 34 | 性差医療センター | 実施なし | | |
| 35 | 漢方内科 | 対応可 | 限定しない | 申込内容に応じて対応医師を決定 |
| 36 | 腫瘍内科 | 対応可 | 限定する | 申込内容に応じて対応医師を決定 |
| 37 | リハビリテーション科 | 対応可 | 限定する(運動器疾患及び脊椎脊髄疾患) | 申込内容によって対応医師を医局で決定(教授 林 哲生、准教授 大内 一夫) |
| 38 | 救急科 | 実施なし | | |
| 39 | 輸血診療部 | 対応可 | 輸血、移植、細胞治療および輸血検査、HLA検査、遺伝子検査が必要となる病態や疾患(血液疾患など) | 教授 池田和彦 |
| 40 | 痛み緩和医療センター | 実施なし | | |